

平成31年2月22日

羽村市長 並 木 心 様

羽村市コミュニティバスはむらん運営推進懇談会  
座 長 山 川 仁

## はむらんの運行事業改善にかかる検討結果報告書

本懇談会は、これまでコミュニティバスはむらんに関して

- 運行ルート、運行時間帯、運行間隔に関する事。
- 利便性向上のための方策に関する事。
- 採算性向上のための方策に関する事。
- 利用者増加のための方策に関する事。

の4項目について検討を重ね、その検討結果について、平成18年6月、平成20年5月および平成21年10月に「はむらんの運行事業改善にかかる検討結果報告書」として市長に提出してきた。

その後も、継続的に本懇談会では、引き続き利便性向上のための方策を検討してきたところである。

前回の報告以降は、各回の懇談会における意見を受け、速やかに対応できる内容が多かったことから、報告書による報告を行うまでもなく、改善が図られてきたところである。

今回、第六次はむらん運営推進懇談会が終了することから、その改善内容について一覧にまとめ報告するとともに、検討を重ねた中での今後の課題について報告するものである。

## I 懇談会における検討結果に基づく改善内容について

コミュニティバス「はむらん」は、その運行目的の一つである「交通不便地域の解消」のために、市内をくまなく回り市民の身近な足として機能することを第一に考えて現在まで運行している。

運行コースについては、道路の新設や改良、社会や地域特性の変化などにより、普段の見直しが必要であることから、懇談会において様々な検討提案を行ってきたところである。

以下、その検討結果内容に基づき実施された改善策を報告する。

前回報告（平成 21 年 10 月）以降、実施した主な改善策

No.	改善策	備考
1	「双葉町三丁目」バス停の設置 （平成 22 年 10 月）	対象：羽村東コース 双葉町三丁目にバス停を新規に設置し、ルートを延伸することで、利用者の利便性の向上を図った。
2	羽加美栄立体交差の開通に伴うコース変更及び栄町二丁目バス停・栄小学校バス停の設置 （平成 22 年 10 月）	対象：小作西コース 羽加美栄立体交差の開通に伴うコース変更を行い、踏み切り待ちの解消を図った。また、変更コース上に栄町二丁目バス停と栄小学校バス停を新規に設置することで、利用者の利便性の向上を図った。
3	車両の入替え （平成 23 年 1 月）	乗車定員数の増（19 人→25 人） 電光掲示板による経由地・行き先などを車外に表示し情報提供することで、利用者の利便性が向上した。
4	「羽村駅西口」バス停へのベンチ設置 （平成 23 年 5 月）	対象：羽村西コース 利用者の利便性の向上を図った。
5	「動物公園前」バス停へのベンチ設置 （平成 23 年 5 月）	対象：羽村東コース 利用者の利便性の向上を図った。
6	「スイミングセンター」バス停へのベンチ設置（平成 23 年 5 月）	対象：羽村東コース 利用者の利便性の向上を図った。

7	「福生病院」バス停へのベンチ設置 (平成 23 年 5 月)	対象：羽村東コース 利用者の利便性の向上を図った。
8	羽村中央コースの運行開始及び電気バスの導入 (平成 24 年 3 月 10 日)	対象：羽村中央コース 利用者の利便性の向上及び環境に対する取組みとして電気バスを導入し、平成 24 年 3 月 10 日より、市役所を起点に羽村駅と小作駅を結ぶ「羽村中央コース」の運行を開始した。
9	はむらん乗降調査 (OD 調査) の実施 (平成 24 年 9 月 25 日・27 日・10 月 7 日)	対象：全 4 コース (全 38 ダイヤ) はむらんの利用状況を把握し、更なる利便性の向上を図ることを目的として実施した。
10	有料広告の料金改定 (平成 24 年 10 月)	これまで全コースへの掲示で 1 枠月額 12,000 円をコース毎に 1 枠月額 3,000 円から掲載できるよう変更した。
11	サービスデーの実施 (平成 25 年 3 月)	はむらんの認知度向上と日ごろの利用に対する感謝を込めて無料乗車日を 2 日間実施した。
12	「清流西」バス停設置 (平成 25 年 8 月)	対象：羽村西コース 利用者の利便性の向上を図った。
13	バスに色分けをしたカードを設置し、コース別を分かりやすく表示 (平成 26 年 3 月)	対象：全コース 利用者の利便性の向上を図った。
14	ルート・ダイヤ改正 (平成 26 年 7 月)	対象：全 4 コース 利便性の向上を目指して、羽村中央コースのルートを延伸し、羽村西・小作・羽村中央コースのダイヤを改正した。 羽村中央コースについては、福生病院まで延伸(土曜日、日曜日、祝日も福生病院へ運行。)し、「神明台一丁目」バス停の新設(羽村中央コース専用)を行った。 また、小作駅東口・西口バス停を乗り継ぎ場所として追加し、利用する方にとって、よりわかりやすいバス停名とするため、「動物公園西」バス停を「羽村団地北」バス停へ、「羽村高校」バス停を「羽村高校・羽村三慶病院」バス停に変更した。

15	ルート・ダイヤ改正に伴う、時刻表・路線図及びバス停の改善 (平成 26 年 7 月)	対象：全 4 コース 平成 26 年 7 月のルート・ダイヤ改正に伴い、時刻表・路線図を発行した。 また、利便性の向上に向けて、バス停と時刻表・路線図に番号を表記した。
16	時刻表・路線図(点字版)及びご利用リーフレット(No.1)の発行 (平成 26 年 7 月)	対象：全 4 コース 視覚障害者に対し、はむらんを利用してもらうよう、時刻表・路線図(点字版)を作成し、公共施設等窓口に設置した。 また、はむらんの利用促進に向け、時刻表・路線図以外の詳細内容を情報提供するご利用リーフレット(No.1)を発行した。
17	「東会館」バス停への椅子設置 (平成 26 年 12 月)	対象：羽村東コース 利用者の利便性の向上を図った。
18	ご利用リーフレット(No.2)の発行 (平成 27 年 2 月)	対象：全 4 コース はむらんの利用者促進に向け、ご利用リーフレット(No.2)を発行した。
19	「フレッシュランド西多摩」バス停へのベンチ・上屋の設置 (平成 27 年 4 月)	対象：羽村東コース 利用者の利便性の向上を図った。
20	はむらん運行 10 周年記念事業の実施 (平成 27 年 5 月 27 日～5 月 30 日)	はむらんの利用促進に向けての PR 及び利用者への感謝を込めて実施した。 1 日目：日野自動車(株)羽村工場見学会開催 2 日目：はむらん運賃無料感謝デー実施 3 日目：はむらん運賃無料感謝デー実施 4 日目：バス乗り方教室実施 参加・利用者へ「はむらん運行 10 周年記念品」記載入りボールペンを配布し、利用者に対し、アンケート調査を実施した。
21	電光掲示板内容の変更 (平成 27 年 9 月)	はむらんの利用促進と利便性の向上に向けて、区間の路線方面を分かりやすく電光掲示板で掲示するよう変更を行った。
22	ご利用リーフレット(No.3)の発行 (平成 27 年 11 月)	対象：全 4 コース はむらんの利用者促進に向け、ご利用リーフレット(No.3)を発行した。
23	ご利用リーフレット(No.1)(No.2)の点字版の発行 (平成 27 年 12 月)	対象：全 4 コース 視覚障害者に対し、はむらんを利用してもらうようご利用リーフレット(No.1)(No.2)の点

		字版を作成し、市役所総合案内窓口に設置した。
24	AZEMSの「はむらん」への導入	市庁舎に太陽光発電設備を設置し、この電力を二次電池に蓄電した上で、「電気バスはむらん」用のEV用急速充電器へ供給するシステムを導入した。
25	羽村市動物公園への「はむらん」利用案内を掲示 (平成28年5月)	対象：全4コース 動物公園に向かう方に、はむらんを利用してもらうため、JR羽村駅自由通路と羽村駅東口バス停に動物公園へのはむらん利用案内を掲示した。
26	ご利用リーフレット(No.4)の発行(平成28年6月)	対象：全4コース はむらんの利用者促進に向け、市内病院への行き方を掲載したご利用リーフレット(No.4)を発行した。
27	ICカードリーダー導入 (平成28年7月1日)	対象：全4コース 利用者の利便性向上を図った。
28	エクセル版時刻表の公開 (平成28年7月)	時刻表を自分専用に編集できるよう、エクセル版の時刻表を公式サイトに掲載した。
29	バス停ベンチ設置 (平成28年9月)	図書館・ゆとろぎ・玉川二丁目の3ヶ所にベンチを設置した。
30	産業祭でのPR (平成28年11月)	市内イベントである産業祭において、産業祭専用のミニ時刻表と子ども向けの塗り絵カードを配布した。
31	わたしの時刻表の実施 (平成28年12月)	個人専用オリジナル時刻表の作成受付を開始した。
32	花と水のまつりでのPR (平成29年3~4月)	市内イベントである花と水のまつりにおいて、花と水のまつり専用のミニ時刻表を配布し、会場への交通を案内した。
33	バス停ベンチ設置 (平成29年10月)	川崎公園、天竺運動公園の2ヶ所にベンチを設置した。
34	産業祭でのPR (平成29年11月)	市内イベントである産業祭において、「はむらん」を展示し、乗り方教室と写真撮影会を実施した。

35	花と水のまつりでのPR (平成30年3~4月)	市内イベントである花と水のまつりにおいて、花と水のまつり専用のミニ時刻表を配布し、会場への交通を案内した。
36	広告付時刻表の共同発行 (平成30年4月~)	時刻表パンフレット印刷費の経費削減のため、広告代理店と協力し広告掲載事業者を募り、広告費を得ることで、市の負担なく時刻表の共同発行を行った。
37	バス停名の変更及びバス停増設によるルート変更に伴うダイヤ改正 (平成31年3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バス停名称の変更 「双葉町二丁目」を「双葉町公園」に、「神明苑」を「神明神社」に変更した。</li> <li>• バス停の増設 「江戸街道公園」(東コース)、「さくらモール」(東・西・小作コース)にバス停を設置しルート変更を行った。</li> <li>• ダイヤ改正 決まった周期でバスが発着するように、全コースでダイヤを変更した。</li> </ul>

## Ⅱ 今後の課題について

### 1 採算性の向上について

「はむらん」の乗客数は平成 30 年度には年間 20 万人に達する見込みであり、市民の足として根付いたといえる。しかし、採算性においては、第 3 次報告書において提案した車内広告が導入されたものの、ルート延長などに伴い経費が増加していることから、向上していない。

採算性の向上に関しては、第五次懇談会から、バス停名称における「ネーミングライツ」の検討を行ってきており、今後、具体的に制度設計・制度整備を進め、速やかに実施していくことが望まれる。

また、バス停だけでなく、ベンチ等の設置に関しても、ネーミングライツやクラウドファンディングなど効果的な方法を検討していくことが望ましい。

### 2 利便性の向上について

「Ⅰ 懇談会における検討結果に基づく改善内容について」にもあるように、「はむらん」は乗客数の確保のため、これまで、ルート延長を行ってきている。その成果として乗客数は年間 20 万人に達することとなったが、一方で、ルート延長により、乗車区間によっては乗車時間が長くなってしまふことから、利便性の向上が課題となっている。

「はむらん」は、これまで「各ルートが主要な公共施設で乗降できること」を目的にルート設定をしてきたが、近年の懇談会においては、「全ルートが主要な公共施設に立ち寄りよりも、運行エリアを分け、各エリアを巡回するルート設定にすべきではないか」との意見や、「双方向に運行できないか」との意見もでてきている。

それらの意見を検討し、反映するにはルート的大幅な見直しが必要となることから、今後の懇談会において時間をかけて調査・検討していく必要がある。